

北海道 公衆衛生学雑誌

ISSN 0914-2630 CODEN HKEZEA

Vol 28 No 1 2014

Hokkaido Journal of Public Health

Contents

第66回北海道公衆衛生学会プログラム

メインテーマ 「震災後の復興活動から見えてくる公衆衛生の原点」

学会長 北海道大学大学院保健科学研究院教授 佐伯和子
会期 平成26年12月2日(火)
会場 北海道大学 学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

■特別講演

「原子力災害後の復興活動における公衆衛生」

演者 福島県立医科大学医学部教授 安村誠司
座長 北海道大学大学院保健科学研究院教授 佐伯和子

■シンポジウム

「地域の医療介護体制の再構築と誰もが安心して暮らせるまちづくり」

座長 札幌市手稲区役所保健福祉部長 矢野公一
北海道釧路総合振興局保健環境部保健行政室健康推進課長
山本純子
シンポジスト 北海道十勝総合振興局技監 山本長史
札幌市東区保健福祉部保健支援担当課長 斉藤佳代子
八雲町熊石関内町内会 会長 佐藤弘
八雲町熊石総合支所住民サービス課保健福祉係長 田畑真紀子

第66回 北海道公衆衛生学会

期日

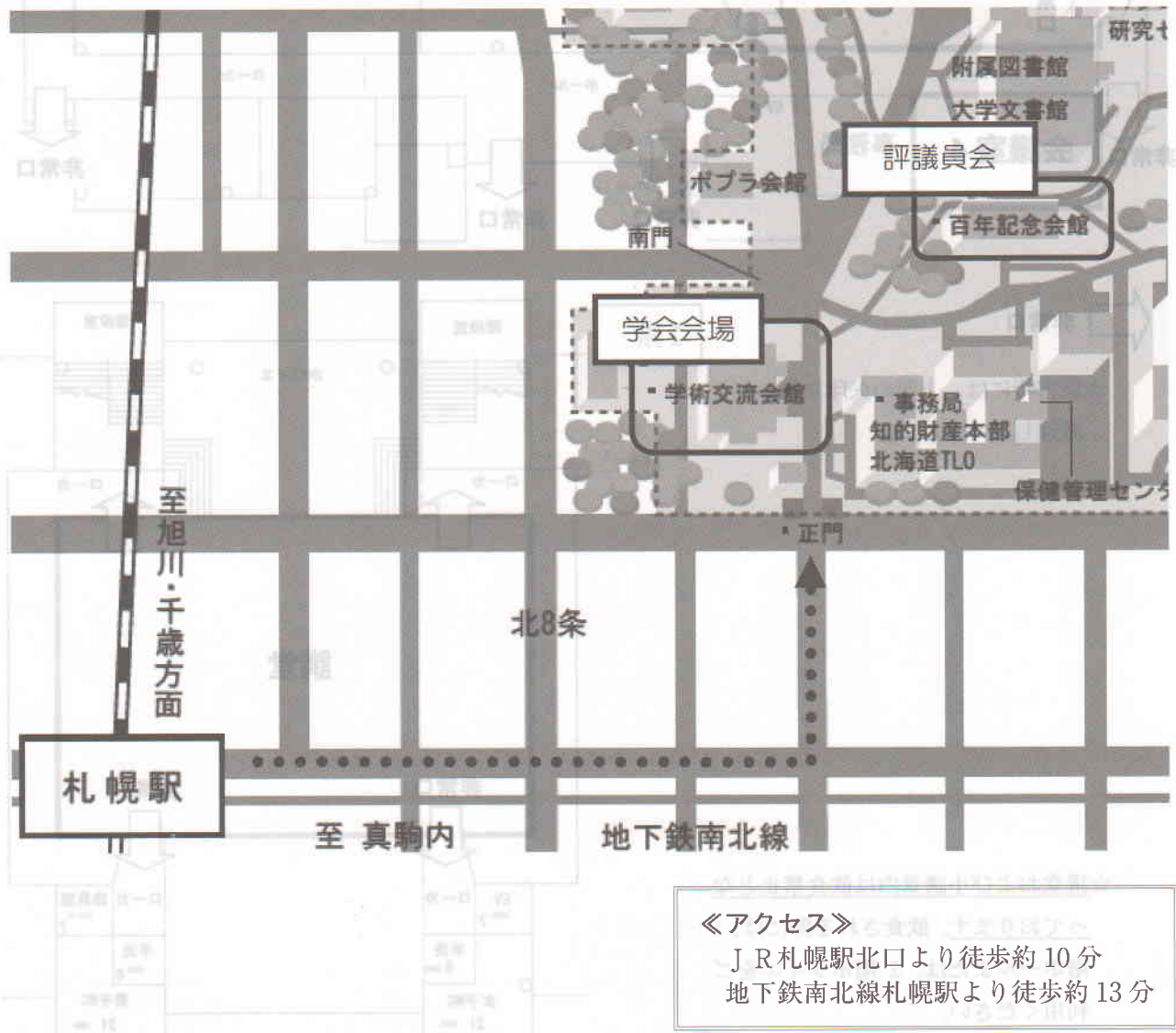
学 会 長 佐伯 和子 北海道大学大学院保健科学研究所教授

会 期 平成 26 年 12 月 2 日 (火)

会 場 北海道大学 学术交流会館
札幌市北区北 8 条西 5 丁目

評 議 員 会 評議員会会場
北海道大学 百年記念会館 大会議室

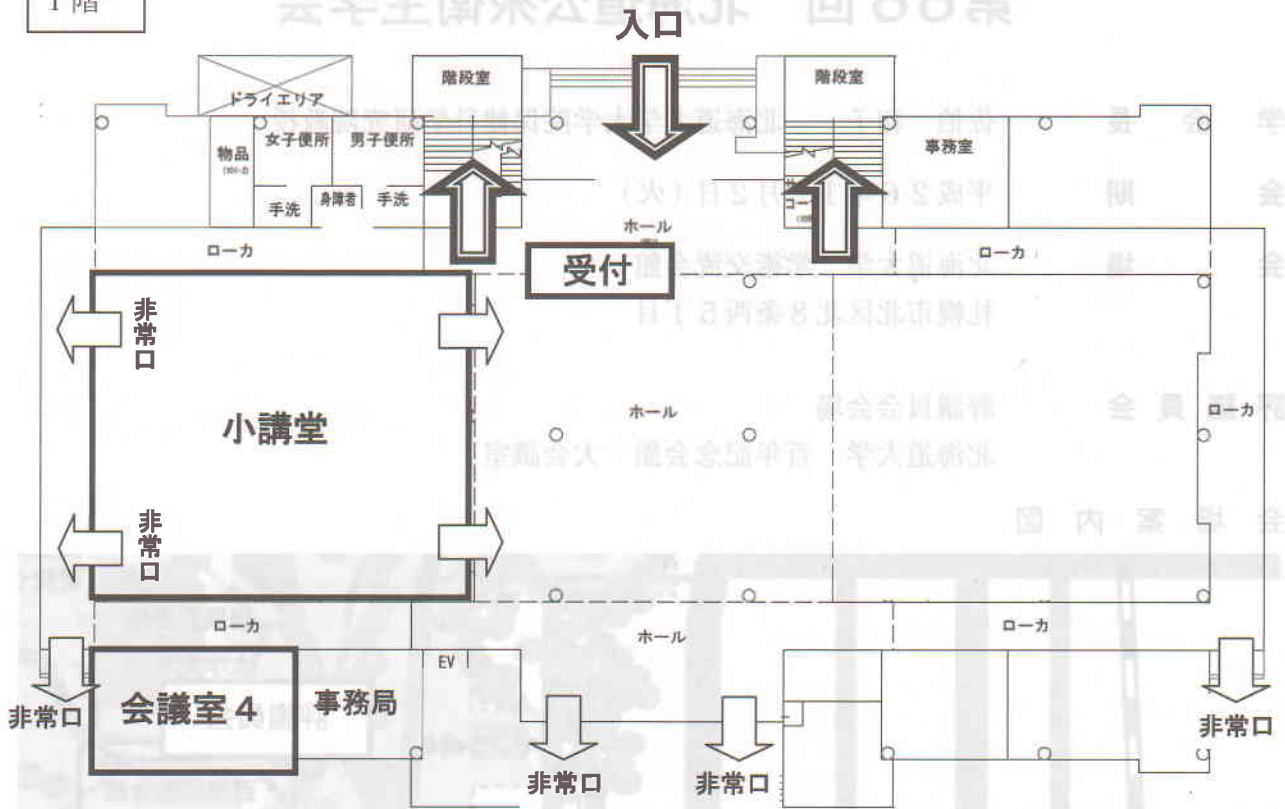
会場案内図



《アクセス》
 JR札幌駅北口より徒歩約 10 分
 地下鉄南北線札幌駅より徒歩約 13 分

*大学構内に駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

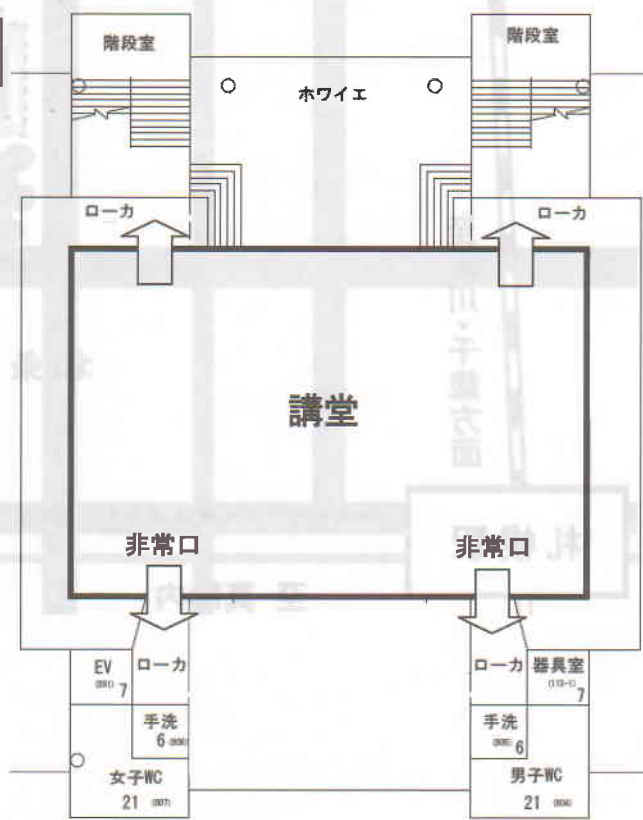
1階



非常口

2階

☆災害時には、上記の矢印に従って、避難してください。



☆講堂および小講堂内は飲食禁止となっております。飲食される際には、1階ホールまたは、2階ホワイエをご利用ください。

第66回 北海道公衆衛生学会 日程

		ホール	講堂 (2階)	小講堂 (1階)	会議室4 (1階)
12月2日(火)	午前	開場・受付 9:00-			
			開会式 9:30-9:40		
			特別講演 9:40-11:00		
			母子保健1 4題 11:15-11:55	環境保健 4題 11:15-11:55	
	昼		総会 12:00-12:30		
	午後		健康管理 5題 13:00-13:50	介護・高齢者保健 5題 13:00-13:50	母子保健3 5題 13:00-13:50
			メンタルヘルス 5題 14:00-14:50	地域保健1 6題 14:00-15:00	母子保健4 5題 14:00-14:50
			シンポジウム 15:00-16:50	母子保健2 3題 15:10-15:40	
				地域保健2 5題 15:50-16:40	
			閉会式 17:00-17:10		
研究集会 17:30-19:45					

《評議員会》

11:15~11:45 百年記念会館 大会議室 (学術交流会館より徒歩5分)

学会運営についてのお知らせ

＜参加受付、口演発表データ受付、座長受付ともすべてホール受付で行います＞

1 学会参加者の皆様へ

- (1) 事前申込をされた方：事前申込受付にて受付をしてください。受付の際に抄録集とネームカードをお渡ししますので、所属、氏名を記入の上、着用下さい。
- (2) 当日受付される方：当日受付にて、参加費（学会員3,000円、非学会員4,000円）を納めて下さい。引換えに抄録集とネームカードをお渡ししますので、所属、氏名を記入の上、着用下さい。
- (3) この会は、日本公衆衛生学会認定専門家地方公衆衛生学会となっております。
※会場内では、常に、ネームカードをつけてください。

2 一般演題発表者へ

- (1) パワーポイントを使用される方は、口演発表データ受付にて発表用データをお預かりします。
午前発表者のデータ受付終了時間は10：00、午後発表者のデータ受付終了時間は12：00です。
- (2) 確認用PCにて、スライドの最終確認をして下さい。修正が必要な場合は、画面上の体裁を整える程度とし、発表内容の修正はできませんのでご了承ください。
- (3) 発表者は、各演題群の開始5分前に「次演者席」に着席してください。
- (4) パワーポイントを使用される方は、スクリーンに表紙画面を表示させておきますので、以後の操作は演者自身で行ってください。
- (5) 発表は、1演題につき発表7分、討論3分の合計10分とします。発表時間の目安として、発表時間終了1分前に1回、発表時間終了時に2回、討論終了時に3回ベルが鳴ります。

3 一般演題座長の方へ

- (1) 座長受付にて、受付をしてください。
- (2) 担当される演題群の5分前までに会場にお越しになり、座長席にお座りください。
- (3) 担当される演題発表の進行方法は座長に一任します。1演題につき10分を目安に、全体として予定時間どおりの進行になるようお願いいたします。

関 連 行 事

◇ 北海道公衆衛生協会 平成26年度 研究集会

テーマ：地域の当たり前の生活と健康を守ること

～震災で見た公衆衛生活動の原点と伝承～

日 時：平成26年12月2日（火） 17：30～19：45

会 場：北海道大学学術交流会館 講堂（2階）

（札幌市北区北8条西5丁目）

内 容：第1部 映画上映（98分）

「1000年後の未来へ－3.11保健師たちの証言－」

第2部 フォーラム

講師 伊達 広行 北海道大学大学院保健科学研究院長

講師 針金佳代子 天使大学看護栄養学部准教授

座長 平野美千代 北海道大学大学院保健科学研究院准教授

参加費：無料

一般演題

場所：北海道大学学術交流会館（札幌市北区北8条西5丁目）

発表者（筆頭者）のみを掲載しています。

12月2日（火）

会場：講堂（2階）

健康管理 5題

13：00～13：50 座長：西條 泰明（旭川医科大学医学部）

1 中学生の「成年時に喫煙しないという意思」に影響する要因

伊東 沙希（北海道倶知安保健所）

2 知的障がい者の健康管理を考える～知能指数と生活習慣病の関係～

廣田 洋子（北海道立心身障害者総合相談所）

3 高齢者施設における栄養管理状況と展望

竹腰 恵（札幌市保健福祉局保健所）

4 新たな子宮頸がん検診システムの構築：働く女性の自己採取HPV検査の受容と問題点の検討

Sharon Hanley（北海道大学大学院医学研究科）

5 マンモグラフィ併用による乳がん検診の8年間の成績

黒藤 邦夫（北海道対がん協会）

メンタルヘルス 5題

14：00～14：50 座長：河原田まり子（札幌市立大学看護学部）

6 精神保健福祉センターにおける高齢者のうつ予防に対する取組

飛田 幸宏（札幌市精神保健福祉センター）

7 実行委員を組織し行った自殺予防対策の取り組みについて

横山真由美（枝幸町役場）

8 医療福祉系高等教育機関に所属する学生のひきこもり親和性とその関連要因

米田 政葉（北海道医療大学大学院看護福祉学研究所）

9 女性訪問介護労働者の抑うつと労働環境の関連

峯岸 高裕（札幌市北区第1地域包括支援センター）

10 健診機関看護職のメンタルヘルスケア業務量とその関連要因

池田千聖子（北海道大学大学院保健科学院

公益財団法人北海道結核予防会札幌複十字総合健診センター）

会場：小講堂（1階）

母子保健1 4題

11：15～11：55 座長：山中 洋子（札幌市保健福祉局保健所）

11 妊婦支援相談事業から考察したハイリスク妊婦の状況について

白鳥 和美（札幌市保健福祉局保健所）

12 北海道における幼児の肥満と生活習慣との関連

内村 彩華（天使大学大学院看護栄養学研究所）

13 確実な定期予防接種の実施に向けた当院の取り組み

澤崎 美穂（田園通り さわぎき医院）

14 北海道における居住地以外での定期接種に対する公費助成に関する調査

守村 里美（北海道立子ども総合医療・療育センター）

介護・高齢者保健 5題

13：00～13：50 座長：工藤 禎子（北海道医療大学看護福祉学部）

15 未実施地域における介護予防事業の普及啓発—とんでんいきいき健康体操教室の取組—

高橋 英章（札幌市北区保健福祉部）

16 徘徊高齢者SOSネットワーク再構築の取り組み

山口 亮（北海道釧路保健所）

17 若年認知症の配偶者を介護する家族介護者と家族の会とのつながり

蔵満 美奈（北海道大学大学院保健科学院）

18 札幌市A区に在住する高齢者の身近な地域における社会参加の実態

及川 真子（北海道大学大学院保健科学院）

19 地域で安心して暮らすための見守りに関する高齢者の意識

瀧澤 莉代（北海道大学医学部保健学科）

地域保健1 6題

14：00～15：00 座長：廣田 洋子（北海道立心身障害者総合相談所）

20 健康増進施策で市区町村保健師が重要と考える栄養・食生活アセスメント項目

—地域の特性の把握について—

木村 宣哉（北海道大学大学院保健科学院）

21 公衆衛生看護学実習における家庭訪問指導—実習指導者への調査—

森本 友香（札幌市厚別区保健福祉部）

22 保健師を志す学生の保健師の役割に関する学び—地域保健看護学領域の総合実習を通して—

塩川 幸子（旭川医科大学医学部看護学科）

23 札幌市新任期保健師教育の取り組みと課題

坂本 佳子（札幌市保健福祉局保健所）

24 地域住民を対象とした認知症に関する教育支援

御厩美登里（札幌市立大学）

25 トランス脂肪酸（trans fat）に係る中標津保健所管内町職員の意識調査

伊東 則彦（北海道根室保健所・北海道中標津保健所）

母子保健 2 3 題

15:10~15:40 座長：和泉比佐子（札幌医科大学保健医療学部）

- 26 胎児期の有機塩素系農薬が小児アレルギー発症に与える影響—環境と子どもの健康北海道スタディー
宮下ちひろ（北海道大学環境健康科学研究教育センター）
- 27 胎児期の母の受動喫煙が児の出生時体格に及ぼす影響：遺伝環境交互作用について
小林 澄貴（北海道大学環境健康科学研究教育センター）
- 28 「5歳児健康相談」実施における結果と考察
小銭 寿子（名寄市立大学）

地域保健 2 5 題

15:50~16:40 座長：立花八寿子（北海道岩見沢保健所）

- 29 旭川市内の病院における防火・防災体制について
館田志津子（旭川市保健所）
- 30 感染管理認定看護師と連携した高齢者施設の感染予防対策
上田 哲弘（北海道釧路保健所）
- 31 服薬確認を拒否する結核患者に対しDOTSが有効に働いたと考えられる事例
坪井 真理（北海道岩内保健所）
- 32 ALS患者・家族のよりよい療養環境整備に向けた実践
小練美由紀（北海道岩見沢保健所）
- 33 精神障がい者の日中活動及び就労など地域支援に関する事例分析
木村 章子（北海道岩見沢保健所）

会場：会議室4（1階）

環境保健 4題

11：15～11：55 座長：齋藤 健（北海道大学大学院保健科学研究院）

34 2014年の道内6都市におけるシラカバ花粉飛散状況調査

武内 伸治（北海道立衛生研究所）

35 道内における毒草による食中毒防止の取り組み（第2報）—ドクニンジンの分布調査—

藤本 啓（北海道立衛生研究所）

36 当所管内における麻しんアウトブレイク事例

村松 司（北海道岩見沢保健所）

37 札幌市におけるヘルパンギーナの流行状況

扇谷 陽子（札幌市衛生研究所）

母子保健 3 5題

13：00～13：50 座長：上田 泉（札幌医科大学保健医療学部）

38 育児期における母親の相談相手と対人態度の関連

渡辺 真優（北海道大学医学部保健学科）

39 北海道3地区における妊婦の食習慣・運動習慣の実態について：環境省「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」北海道ユニットセンター登録者のデータから

湊屋 街子（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

40 新たな母子保健の課題を探る 第1報：簡便な疫学調査分析法の模索

和田 聖一（北海道稚内保健所）

41 新たな母子保健の課題を探る 第2報：幼児の手づかみ食べ、丸かじり食べの重要性

和田 聖一（北海道稚内保健所）

42 新たな母子保健の課題を探る 第3報：起床・就寝時間は幼児の食生活をデザインする？

小泉 雅幹（北海道稚内保健所）

母子保健 4 5 題

(調) ト室蘭会：学会

14:00~14:50 座長：吉田礼維子(天使大学看護栄養学部)

43 新たな母子保健の課題を探る 第4報：幼児の排便間隔は食生活の鏡

高橋 靖乃(北海道稚内保健所)

44 新たな母子保健の課題を探る 第5報：長期の母乳授乳を支援するために

合田 真弓(北海道稚内保健所)

45 新たな母子保健の課題を探る 第6報：母親の喫煙の有無で育児は大きく異なる

石川 雅子(北海道稚内保健所)

46 新たな母子保健の課題を探る 第7報：おやつは1回以下で十分では？

石川 希望(北海道稚内保健所)

47 新たな母子保健の課題を探る 第8報：アトピーからアレルギーマーチにさせないために

山口 昌子(北海道室蘭保健所)

(調) ト室蘭会：学会 14:00~14:50

座長：吉田礼維子(天使大学看護栄養学部)

(調) ト室蘭会：学会

43 新たな母子保健の課題を探る 第4報：幼児の排便間隔は食生活の鏡

高橋 靖乃(北海道稚内保健所)

(調) ト室蘭会：学会

座長：吉田礼維子(天使大学看護栄養学部)

(調) ト室蘭会：学会

44 新たな母子保健の課題を探る 第5報：長期の母乳授乳を支援するために

合田 真弓(北海道稚内保健所)

45 新たな母子保健の課題を探る 第6報：母親の喫煙の有無で育児は大きく異なる

石川 雅子(北海道稚内保健所)

第66回 北海道公衆衛生学会運営役員

顧問	北海道大学大学院保健科学研究所	院長	伊達 広行
学会長	北海道大学大学院保健科学研究所	教授	佐伯 和子
副学会長	北海道大学大学院保健科学研究所	教授	齋藤 健
幹事	北海道大学大学院保健科学研究所	教授	小笠原 克彦
幹事	北海道大学大学院保健科学研究所	教授	山内 太郎
幹事	北海道保健福祉部地域医療推進局	主幹	阿久津 雅子
幹事	札幌市保健福祉局保健所健康企画課	健康推進担当課長	澤田 さとみ
事務局			
事務局長	北海道大学大学院保健科学研究所	准教授	平野 美千代
事務局員	北海道大学大学院保健科学研究所	助教	本田 光
事務局員	北海道大学大学院保健科学研究所	助教	水野 芳子
事務局員	北海道大学大学院保健科学研究所	講師	青柳 道子
事務局員	北海道大学大学院保健科学研究所	助教	進藤 ゆかり